



芸術文化振興基金

くらぎ

蠟燭能

蠟燭能とは？

近代建築の灯りを極力暗くして、
蠟燭の灯りのみにて能楽を上演する形態。
燃え盛る蠟燭の炎のみにて
照らし出される能舞台には、
『幽玄』の夢の世界が現出する。

六浦

MUTSURA

シテ (金春流シテ方能楽師)

村岡聖美

解説 (金春流シテ方能楽師)

山井綱雄



・日時

11月7日 (土)

開場 17:00 開演 17:30

・料金 3,500円

1,000円 (小・中学生)

・主催、会場、問合せ

くらぎのうぶたい
久良岐能舞台

横浜市磯子区岡村8-21-7

045 (761) 3854

受付 10:00~17:00

《注》感染症予防のため定員は50名迄と致します。座席は順番に主催者側で決めさせていただきます。

番組

解説

仕舞 鍾馗

称名寺



地謡

《休憩・点火式》

能 六浦

シテ(前…里女
後…楓の精)

ワキ (旅僧)

ワキツレ(従僧)

アイ(所の者)

笛

小鼓

大鼓

太鼓

後見

地謡

山井 綱雄

山井 綱雄

林 美佐

柏崎真由子

安達 裕香

村岡 聖美

館田 善博

則久 英志

高澤 祐介

小野寺竜一

森 貴史

大倉栄太郎

大川 典良

山井 綱雄

岩松 由実

林 美佐

柏崎真由子

安達 裕香

六浦(むつら) あらすじ

東国修行の旅の僧が相模国六浦の称名寺(しようみやうじ)に立ち寄り、山々の紅葉を眺めていると、一本だけ紅葉せず、青々とした楓の木があるのを見つける。

そこに一人の女が現れ、この木は昔、中納言為相(ためすけ)卿の和歌に詠まれ、功を得たら身を退くのが天道であるとの故事に基づいて紅葉しなくなったのだと語り、自分こそがこの木の精であると言って姿を消す。

その夜、女は本来の楓の精の姿で現れ、再び妙縁を得た事を喜ぶ。やがて楓の精は、紅葉が唐紅のように照り映える庭で舞い、夜明けと共に姿を消す。

村岡聖美(むらおかきよみ) プロフィール

シテ方金春流能楽師、

公益社団法人金春円満井会理事、公益社団法人能楽協会会員、み絲之會同人、八十世宗家金春安明、山井綱雄に師事。國學院大學文学部日本文学科卒、大学在学中に能と出会い、卒業後本格的に能楽師の道を目指す。

平成十四年 入門、平成十七年 能「羽衣」にて初シテ、平成二十三年 能楽協会入会。「乱」「石橋」を披く。

バス時刻表

最寄駅	乗車系統名	乗場	発車時刻
京浜急行 「上大岡駅」 Kamiooka.st	横浜市営バス 64 系統「磯子駅前行」 ※1	12	16:50
	京急バス上7系統 笹塚・泉谷・岡村循環	2	16:35
J R 「磯子駅」 Isogo.st	横浜市営バス 78 系統「根岸前行」	2	16:46
	横浜市営バス 64 系統「港南台前行」	2	16:37

・全ての駅から所要時間は約13分 「笹塚」下車 徒歩約5分
 ※1 上大岡駅の横浜市営バスは乗場が鎌倉街道沿いにございます。
 ・バスの時刻は予告なく変更となる場合があります。詳細は運行会社にお問い合わせください。

久良岐能舞台
～案内図～



附祝言

(終演予定十九時半頃)